

矢祭町地域おこし協力隊は、町外のさまざまな地域から集まり、地域づくりに貢献しています。

現在町内にいるのは6名。各メンバーは、JR水郡線東館駅を中心とした地域の場づくり、デジタル推進、読書の町づくり推進、スポーツ振興など、多岐にわたるジャンルで活動中です。町内で協力隊の活動をお見かけの際は、お気軽にお声がけください！

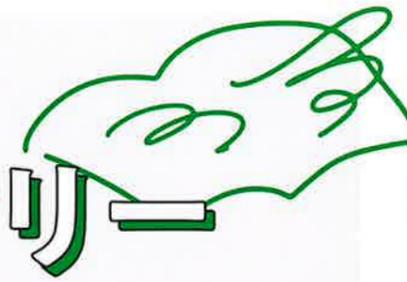


Volume.99  
2026.2Update

矢祭町地域おこし協力隊

# 活動ダイアリー

Let's go!



## 地域おこし協力隊って？

「地域おこし協力隊」とは総務省が実施する制度です。隊員は都市部等から地方に移住し「地域活性化のための活動」を業務として日々取り組んでいます。

任期は最大3年間。学校や図書館と連携し活動をする、イベントを企画して人と人の交流を増やす、町の人が集まれる場所を運営する…等々、それぞれのやり方で活動しています。また、隊員は皆違う地域から移住してくる為生活でも慣れない事や新しい事に沢山出会いながら、ここ矢祭町で暮らしています。

出身も経歴も全く異なる私たちですが、「この町でどんなことが出来るだろう？」と全員が考え試行錯誤していますので、町で見かけた際はどうぞよろしくお願ひします！



こんにちは。デジタル推進担当の若林です。お正月は実家に帰省して家族との時間を過ごしてきました。久々の再会でリフレッシュできたのはもちろんですが、何より刺激を受けたのが、受験を控えた弟の姿です。机に向かう彼のひたむきな姿を見て、私も何か新しいことに挑戦したいという前向きな気持ちが湧いてきました。そんな弟に感化され、私も心機一転、漢字検定の勉強を始めることにしました。学生時代とはまた少し違う、自分の意志で向き合う勉強は、とても新鮮な気持ちです。

さて、勉強といえば、先日デジタル部の皆さんと一緒にスマホ相談会のサポートをしました。参加者の皆さんと一緒に学ぶことが多く、非常に充実した時間となりました。中学生の献身的なサポート姿勢はとっても立派で、これからの相談会の在り方を示す素晴らしいお手本だったと思います！

矢祭町での活動も、まもなく2年目という節目を迎えます。学び続ける姿勢を忘れず、一步ずつ成長していきたいと思っています。本年もどうぞよろしくお願ひいたします！

若林奈那 Nana Wakabayashi  
デジタル推進担当

東京都中野区出身。専門学校卒業後、地域おこし協力隊に就任。ゲーム、ドレーもの映画、食べることが好きです。



Check!

Instagram



読書の町づくり担当の畠山です。寒さで春が待ち遠しいこの時期、家に居る時間が増えたな、という方もいるのではないのでしょうか。読書推進担当としてはここで本を押したいところですが、1月にかかるイベントを開催した事もあり、何人かで集まってアナログゲームを楽しむのもお勧めしたいです。

かるた大会では百人一首を使用することになり、競技かるたについて今回初めて詳しく調べました。「決まり字」の知識、札の配置、「囲い手」などの戦術を知り、「かるたじゃない。競技だこれ。」という感想が素直に出てしまいました。また、こんな風にかかるたに取り組む人もいると知り、自分のかるたに対する見方も変わったと感じます。

「知った気であるものを改めて知って、体験してみる」と、思いの外に新鮮味のある時間が得られました。もし最近退屈しがちな方が居ましたら、試してみたいかでしょうか。特に興味あるものが無い方は、かるたお勧めですよ！

知識の入り口にはまず本を手にとってみてください。読破できるかは置いておき、図書館などで気になるものを選んでみるだけでも、面白い最初の一步になると思います。

畠山青畝 Seiho Hatakeyama  
読書の町づくり担当

東京都清瀬市出身。前職は絵本の製本屋に勤務。甘いものとコーヒーとお茶が好きです。割とよく食べます。



Check!

Instagram



こんにちは。読書のまちづくり担当の眞野です！2026年になってからもう一ヶ月経ってしまうんだ、と驚きながら広報を書いております。きっとそう思うってしまうくらいたくさんのお話をしながら日々を過ごしているということですね！現に1月は子ども司書講座が5回、イベント1回とかなり密な時間を過ごしていました……。他にも図書館のおはなしかいがあったり、年始には久しぶりの友人に会ったり、スマホの容量も私の脳みそもパンパンになるくらいイベント盛り沢山でした！

その中でも、1/24(土)に開催した「かるた大会」は特に楽しかったです！何度もお手付きをしてしまうくらいに……笑 きっかけとしては、「1月っぽいイベントって何かあるかな？」という問いかけに「日の目を見てない道具があって、」と言ったことでした。2年弱ロッカーに閉じ込められていた百人一首が活躍できる場があって本当に良かったです！参加者・観覧者の皆様、本当にありがとうございました！またかるたで遊ぶ際はぜひ来てください～！

眞野夏凜 Karin Mano  
読書のまちづくり担当

青森県むつ市出身。短大卒業後、地域おこし協力隊に就任。読書、音楽を聴くのが好き。最近は backnumber ばかり。



Check!

Instagram



Facebook

